

倉敷市立児島市民病院 病院広報誌

# 「赤レンガ」

【平成26年 新年号】

発行：倉敷市立児島市民病院広報委員会・地域医療連携室

発行月：平成26年1月



## 「瀬戸大橋 ～冬の太陽を背景に～」 （当院職員撮影）

瀬戸大橋は、瀬戸内海をまたいで本州（岡山県倉敷市）と四国（香川県坂出市）を結ぶ10の橋の総称であり、本州四国連絡橋のひとつとされています。「瀬戸内しまなみ海道」との混同を避けるため「備讃瀬戸大橋」と呼ばれることがあります。建設工事は昭和53年から開始され、9年6ヶ月の建設工事を経て、昭和63年10月より供用が開始されました。総事業費は1兆1300万円という空前規模の国家プロジェクトでした。（文献一部引用：Wikipedia）

## 巻頭言：あけましておめでとうございます。

本年も皆様におかれましては健康で幸せな1年であることを職員一同、祈念しております。

## <目次>

P. 1 表紙「瀬戸大橋」・巻頭言

P. 2 院長挨拶

P. 3 診療科案内：外科

P. 4 連携のひろば（西原内科眼科医院）

折込資料：「外来診療予定表」等

# 院長 年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は相変わらぬ温かいご支援を賜り、ありがとうございました。今年もどうぞ宜しく願いいたします。駿馬のごとくとはいきませんが、駄馬ながらも一歩ずつ、「文殊の知恵」をモットーに確実に前に進みたいと思います。

昨年4月には、岡山大学産婦人科医局（平松教授）から高取診療部長が常勤医師として赴任し、産科再開に向けた大きな一歩を踏み出すことができました。引き続き、きちんと周りの環境を整え、夢の実現に向けて駆け抜けたいと思います。今年2月からは岡山大学循環器内科医局（伊藤教授）から小比賀医長が常勤医師として派遣される予定です。循環器内科専門医の常勤医師赴任は当院の歴史の中で初の快挙で、非常勤の先端循環器治療学教授の森田先生（火曜日）とともに当院の循環器内科診療を担っていただきます。また一つ大きく診療機能の質が向上します。

今年度は、新病院建築構想が完成し、市議会で承認され、平成29年開院に向けて年初から建築設計が始まります。いよいよ飛躍の出発点です。40年、50年後の医療情勢をも見据え、自治体病院の果たすべき役割、診療機能、医療サービスを地域に根ざした形で具現化して、できるだけ多くの皆様に活用していただける病院を作ります。建物が新しくなっても「中身がない、魂がなければ、役に立たない」ことは充分承知しているつもりです。情熱的で合理的なご意見、ご指導、ご鞭撻をお待ちしています。

これから本格的なインフルエンザの大流行の時期となります。睡眠と栄養を十分に取り、手洗い、うがいを励行し、どうかご自愛ください。

最後になりましたが、皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

院長 江田良輔

## 国際ソロプチミスト児島より

### 車両・絵画が寄贈されました

昨年11月25日、国際ソロプチミスト児島認証30年を記念して、当院に車両2台が寄贈されました。地域医療連携業務、訪問診療等に活用させていただきます。また併せて絵画「しあわせのメロディ」（清水新也氏作）をいただきました。温かいご支援に深く感謝いたします。



## 部門紹介：外科外来

外科外来スタッフの写真です。皆さんが満足な診断、治療が受けられますように努力いたします。

対象疾患は多岐に亘りますが、岡山大学など他施設とも連携して対応させていただきます。

毎週 木曜日午前10時30分からは  
岡山大学呼吸器外科教授 三好新一郎先生の  
外来診察もあります。



外科の主な診療内容は下記の通りです。

一般外科（外傷、熱傷、体表の腫瘍、ヘルニア疾患、中心静脈ポートの植え込みなど）

消化器外科（胃、小腸、大腸、虫垂、痔核、肝臓、胆嚢、膵臓などの疾患）

乳腺甲状腺外科（乳癌や甲状腺腫瘍などの疾患）

呼吸器外科（気胸、肺癌など）

血管外科（下肢静脈瘤、リンパ浮腫、閉塞性動脈硬化症、静脈血栓症、大動脈瘤など）

消化器、呼吸器外科では内視鏡を使った手術の割合が増加しています。患者さんになるべく負担のかからない手術を心がけ入院期間の短縮に努めています。

乳腺外科は早期発見を目指して、マンモグラフィー、超音波検査等に取り組んでいます。乳がん手術においては症例によりセンチネルリンパ節生検を行い、可能な場合はリンパ節郭清の省略も行っています。肺癌の患者さんは岡山大学呼吸器外科に紹介し、手術をしていただくことが多いですが、希望により当院でも岡山大学呼吸器外科のサポートで手術は可能です。

気胸は保存療法で治らない場合は胸腔鏡（内視鏡）を使った手術を行います。下肢静脈瘤では3-4日の入院で手術を行っています。手術当日より歩行可能です。高齢化社会の進展により脳梗塞後遺症などで嚥下障害の患者が増加していますが、当科では局所麻酔と静脈麻酔の併用で内視鏡下で胃ろうを造設しています。またCVポート（中心静脈ポート）の造設も行っています。ご相談ください。

また、CVポート（中心静脈ポート）の造設も行っています。ご相談ください。

また、CVポート（中心静脈ポート）の造設も行っています。ご相談ください。

また、CVポート（中心静脈ポート）の造設も行っています。ご相談ください。

また、CVポート（中心静脈ポート）の造設も行っています。ご相談ください。

また、CVポート（中心静脈ポート）の造設も行っています。ご相談ください。

また、CVポート（中心静脈ポート）の造設も行っています。ご相談ください。

（文責：外科 岡野和雄）

外来予定表（診療：午前中のみ）

	第1 診療室	第2 診療室
月曜日	鈴木	木下
火曜日	岡野	岡大医師
水曜日	岡野	鈴木
木曜日	木下 三好教授	鈴木
金曜日	岡野	木下

# 第1回

## 倉敷市立児島市民病院

### 緩和ケアセミナー

講演テーマ「緩和医療実践のノウハウ」

開催日時：平成26年1月30日（木）18時～

会場：児島市民交流センターB1 視聴覚室



第1回目の講師は岡山の緩和医療の先駆者であられ、わかりやすい講演で、ご高名な岡山大学病院緩和支援医療科診療科長の松岡順治先生による講演です。

事前申込不要、当日参加OKで、参加無料です。是非、ご参加ください。

駐車場は当院駐車場をご利用ください。（施設駐車場は有料です）

（当該セミナーは関係者対象のため一般市民のご参加はご遠慮いただいております）

主催：倉敷市立児島市民病院緩和ケアチーム

## 連携のひろば：連携医療機関のご紹介



# 西原内科眼科医院

院長 草場珠郁子先生

当院は大正4年に西原眼科として先々代が開業、昭和50年より先代が内科眼科医院として継承いたしました。

診療標榜科は内科と眼科で、内科に関しては草場珠郁子が、眼科は桑元久美子が担当しております。

内科は内科一般の疾患に対応しておりますが、呼吸器・アレルギーを得意としております。疾患によっては倉敷中央病院や児島市民病院などと連携をしております。「地域のかかりつけ医」として、地域の皆様に愛される医院を目指しております。なお、ご希望の患者様には往診・在宅診療を承っております。当院受診の際にご相談ください。



所在地：倉敷市児島味野上 2-8-35

電話：086-472-2112

診療科目：内科・眼科

休診日：木曜日午後・日曜祝祭日

診察時間：

	月	火	水	木	金	土
8：30～13：00	○	○	○	○*	○	○
15：30～18：00	○	○	○	-	○	○

\*木曜午前は8：30～12：30まで

発行者：倉敷市立児島市民病院

住所：〒711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地

TEL：086-472-8111（代表）FAX：086-472-8134（連携室）

<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/hospital/index.html>